

## Gender Equality

今とこれからを輝いて生きる

## 「保育士」—あなたが思い浮かべるのは男性？女性？—

保育士は、男女の割合が女性に偏っている職業です。市は、職場や学校、家庭の中の固定的な性別役割分担意識や思い込みを解消し、性別に関わらず、一人ひとりが、個性や能力を十分に発揮できるまちづくりを進めています。



就職活動を始めると、子どもに携わる仕事の中で児童養護施設に興味を持ち就職。3年後退職することになり、次の仕事を考えたときに頭に浮かんだのは、やはり「保育士」でした。それからは、保育士一筋で現在15年目。その内、小郡市で働き始めて3年目になります。

## 保育士になったきっかけ

三國保育所で男性保育士として活躍する穴井さんのリアルな声をお届けします。

中学生くらいに行った職場体験です。保育園を訪問したのですが、そのときの職場体験

がすごく楽しかったので、保育士になりたいと思うようになりました。そのため、高校も大学も、保育園の先生になれるような学校へ進学しました。ある意味エリートです(笑)

## なぜ市立保育所の職員へ

以前勤務していた保育園の園長から、ステップアップを勧められたことがきっかけです。

「家庭を持って、子どもを養っていくためにも、視野を広げてみたらどうか」「ステップアップのために、転職も含めて幅広く考えてみるのも大事」とアドバイスをいただき、市の職員採用試験にチャレンジしてみました。

## ワークライフバランス

これまでの職場では、業務が立て込んでいて思うように有給休暇を取れないこともありました。しかし、今の職場では職場の皆さんの協力もあって、有給休暇に加えて育休も取得できています。

妻からは、以前から育休を取得してほしいと言われており、第3子にして初めて願いを叶えることができました。





## はじめての育休にワクワク・ドキドキ

### 育休の期間や過ごし方

育休は、2か月間の取得を予定しています。

初めて仕事を長く休んで1日中家族と過ごせるのですが、ずっと働いてばかりだったので全くイメージが湧きません。しかし、これから生まれてくる子はもちろん、上の子2人と関わる時間が増えることが、とても楽しみです。また、普段から血洗いや風呂掃除など

の家事や、子どもの送り迎えなどではできる限りして

いますが、育休に入った後はこれまで以上に、2人で家事や育児を分担しながら協力し合いたいと思っています。

そして、育休の間に1日中子どもと過ごしてみても、仕事での子どもたちへの関わり方や自分の考え方がどう変わるのかも、興味を持っていきます。

### 仕事の難しさや、やりがい

子どもたちは活発でかわいいし、いつも楽しく仕事をしています。ただ、小さい子だと男性の顔を見て泣いたり、抱かれ心地に違和感を感じて嫌がったりもします。そういう時は、一筋縄ではいかない難しさを感じています。本当はもっと園児一人ひとりと向き合って、話したり遊んだりしたいのですが、事務仕事や食事の用意、お迎えの準備など業務が多く、なかなか思うようにできないことがもどかしいです。

しかし、泣いていた子が自分を受け入れてくれたときや名前を覚えて呼んでくれたときは、達成感を感じます。また、子どもが成長するにつれ、大きな動きや運動ができるようになり「先生遊んで〜」と寄ってくるときは、やっぱり嬉しいです。

### 最後に、皆さんに伝えたいこと

これから男性保育士がもっともっと増えていくことを願っています。性別や考え方、接し方がさまざまな保育士と過ごすことで、子どもたちが物事を多面的に見ることができるようになると思っています。もちろん思い通りにいかないこともありますが、イライラは子どもたちが癒やしてくれます。男性の皆さん、保育所お待ちしています。